

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	排水機場運転管理事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
				01	06	01	05	01	02		
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）		主管課	河川課						
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	池田 輝昭						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	水田耕作者及び三輪野山浸水区域の市民	意図	流山排水機場の機能を維持し、操作管理を的確に行うことにより、集中豪雨や台風による浸水被害を軽減させる。
事業内容	排水ポンプが24時間稼働できるように業務委託を行うとともに、高圧電気設備及びポンプ施設の保守点検を行うものである。			
事業開始から現在までの状況変化	水田耕作のための排水機場であったが、平成18年から三輪野山地区の住宅地浸水被害を軽減させるため、土木部で運転管理している。 昭和55年の稼働から39年が経過し、老朽化による維持管理費用の増加が予想される。 現在、効率よく排水操作を行うため、上流水路に水位監視システムを導入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	住宅の浸水被害件数	0	0	0	回	↓↓↓
②	運転の回数	2	6	6	回	↓↓↓	実績値	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 水位監視システムや気象サイトの情報を活用し、排水機場の運転を的確に実施し、浸水被害の軽減に努めている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,592,613	5,264,344	5,018,904				
事業費(b)(円)		4,523,963	5,197,224	4,952,984				
うち一般財源		4,523,963	5,197,224	4,952,984				
職員給与費(c)(円)		68,650	67,120	65,920				
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・排水機場の修繕や改修について、関係機関と継続的に協議する。 ・農業排水施設から都市排水施設への移行について、管理者である千葉県と協議する。	③取組における課題(Check)	・千葉県に対し、河川改修の必要性を要望していく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	・国、県に排水機場を含めた河川改修の必要性を説明した。 ・施設の所管替えについて、千葉県と協議を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・排水機場の修繕、改修等について関係機関と協議し、適正に運用していく。